

# 「立山黒部」世界ブランド化推進会議 第5回ワーキンググループ資料

平成31年3月25日  
富 山 県  
立 山 黒 部 貫 光 (株)

## プロジェクト02 アルペンルートの営業時間拡大

### 【1】2018 取り組み結果

#### 『1』 立山ケーブルカー早朝運転

##### ①計画の策定 2018.04月頃

輸送機関 …立山駅からのケーブルカー

時間の延長 …公示済の始発ダイヤの前倒し(早朝運転)

実施時期 …梅雨明け後～お盆の期間

##### ②実施の検討・見極め

8/7に本土へ接近中の台風の進路等を予測した上、繁忙予想を勘案し

◆ 8/10 立山ケーブル始発7:00→6:40に20分前倒しし運行

◆ 8/11 " 6:00→5:40 " を決定、WEB上に告知した。

#### 『2』 E-SORA立山パノラマバスの運行

立山駅前6:30発 → 室堂7:40着 8/7～8/15 8日間 運行

7/9に当社WEB上に、運行を告知して予約販売を開始した。

# 営業時間拡大 と輸送人員 まとめ

日付	当初 始発時間	営業拡大部分	拡大後 始発時間	立山CC 上り人数	AR全体 入込人員	摘 要 立山CC待ち時間 駐車場等	
8/7・火	立山CC 7:00	E-SORA 6:30	6:30	1,800	4,500		
8/8・水	〃	〃	〃	1,400	4,100		
8/9・木	〃	〃	〃	1,200	3,600		
8/10 金	〃	〃 + 立山CC6:40	〃	2,200	6,100		
8/11 土	立山CC 6:00	〃 + 立山CC5:40	5:40	3,200	9,900		
8/12 日	〃	〃	6:00	3,700	12,400	90分待	7:45より山麓Pへ150台
8/13 月	〃	〃	〃	3,000	10,500		
8/14 火	〃	〃	〃	3,600	11,500	90分待	
8/15 水	〃	〃	〃	3,100	9,700		

## 2018の結果と評価検証

### ◎E-Soraバスの運行

8/7～15の間 9日で243名の乗車 1台27名/定員35名 乗車率77%

※ 利用旅客からも好評を得ており、次年度も継続していきたい。

### ◎立山ケーブルの早朝運行

天候を勘案し3日前に判断したにもかかわらず、当日朝に雨が降ったため来山客が少なく、効果を確認することができなかった。

(天候回復した翌日(8/12)が期間中の最も忙しい日となった。)

※ 本年の反省を生かし、天候の判断をより慎重に行うこととして、次年度も継続して計画いたしたい。

## 2019の取組

2019.2月 次年度に向け社内でダイヤ編成作業を完了

2019.3月 第5回世界ブランド化推進会議ワーキングG

// 月 4月よりの営業に関し、運輸局へ運行計画を届出

※ GWに向け 立山ケーブルカー始発時間を7:00→6:40へ20分 繰上げ営業を検討

6-7月 梅雨明け後の早朝営業を検討

8月 当日の天候と多客を予測した上で、早朝営業実施を決定

決定後、WEB上に告知し、周知を図る。

## 06 滞在プログラムの充実

### ◎ 検討・取組状況

#### 数値成果

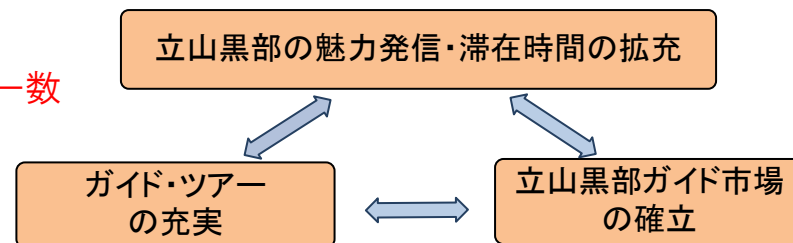
- ガイド10名とツアー25件(日・英合わせて)をTATECOサイトに登録
- 4月～11月のシーズン期間中、以下の集客を達成  
日本語ツアー:4ガイド、12組、28名  
英語ツアー:5ガイド、10組、23名  
※モニターツアー含む
- トリップアドバイザー ロコミ 7件 評価 4.5

#### H30まとめ

- 満喫プロジェクトを通じてインバンドツアー開発することで、**地域ステイカホルダーの合意形成と運営基盤を確立**することができた
- 山岳ガイド、ハイキングガイドなどが個々にツアーを販売していたが、TATECOサイトに集約することで、**ガイドを組織化**することができた
- ツアーガイドの登録基準を作成することで、**新規ガイド参入への道筋**ができた
- インターネットを通じた、**インバウンドビジネスのトライアル**が実践できた

### ◎ 継続していく上での課題

- 立山黒部の魅力発信と滞在時間の増加を目的として、**登録ガイド数・ツアー数の増加を図る**必要がある
- 立山黒部で**ガイドが活躍できる市場を確立**し、立山エコツーリズム研究会の運営に関わる**自走システムの構築**を進めなければならない



### ◎ 今後の取組予定・検討事項

- **ガイドの人材発掘・育成の継続**……座学・現地研修の実施
- **山小屋・博物館の周辺施設や、長野県との連携強化・拡大**……立山黒部エリア全体の活性化
- TATECOガイドの特典としてアルペンルート年間パス制度の導入……新規ガイドの参入促進
- 手数料徴収システムの構築……運営費の確保
- **プロモーション強化**……TATECO認知度向上
- 荒天時のプログラム開発……ツアー実施率向上



## 06 滞在プログラムの充実



2018.7.3 立山信仰ツアー



2018.7.22 雄山登山ツアー

### 【モニターツアー・実販売ツアー】

- トリップアドバイザーに投稿された口コミ
  - ・立山がなぜ富山県民の誇りなのかわかった
  - ・危険個所のアドバイスもあり、安全に配慮されている
  - ・ガイドが優しくトークも面白くあっという間のツアーだった
  - ・珍しい雪ルートにいけ、雷鳥を見ることができ、とてもいい体験でした。 など



2018.11.21 アルペンルートガイドツアー



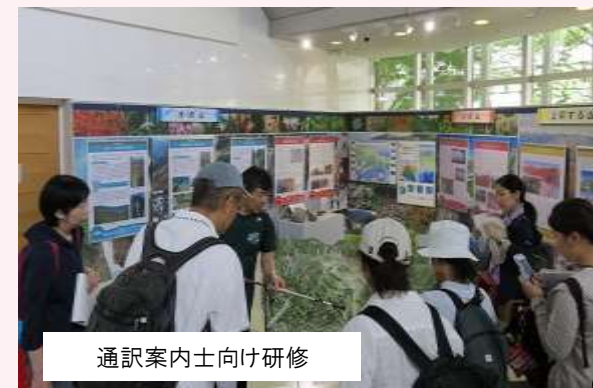
冬季ガイド養成講座

TATEYAMA ECO TOURS  
**TATECO**  
立山黒部アルペンルートツアーガイドサイト「タテコ」

### 【ガイド・通訳案内士研修】



ガイド向け現地研修会



通訳案内士向け研修

立山

黒部

短期

中期

WG

# 11 黒部ルート見学会の一般開放・旅行商品化

## ◎ 推進体制・取り組みの方向性

※第1回「立山黒部」世界ブランド化推進会議資料より

- 富山県と関西電力㈱を中心に、WGを開催しながら協議を進める。
- 旅行商品化、見学者枠の拡大等について具体的な課題整理・解決策の検討を行う。



## ◎ H30の検討・取組状況

### ● 関西電力㈱と富山県との間で、「黒部ルートの一般開放・旅行商品化に関する協定」を締結（H30.10.17）

#### ○ 公募見学会（第4条第1項）

第2条に定める安全対策工事が完了するまでの間、公募見学会の土曜日、日曜日および国民の祝日に関する法律に規定する休日の実施については、**2019年度は、7月から9月までの土日祝日のうち4日間において公募見学会を実施**するものとし、・・・（以下、略）



### ● 2019年度の公募見学会日程

○ 見学会の**日数等** 平日 34日間、**土日祝日 4日間** **計38日間**（見学者数 2,280人（1日当たり60人））

○ **土日祝日**の日程 7月6日（土）、**8月11日（日・祝）、8月25日（日）、9月8日（日）**

#### ○ 公募状況

2月12日（火） ホームページによる案内開始

3月 1日（金） 応募受付開始（第1回～第9回）

4月 1日（月） 同上（第10回～第19回）

※ 8月は、**夏休み期間に家族連れで参加しやすいよう、2日間実施**

### 2018年度の改善内容

・募集開始から参加者決定までの期間（**当落不確定期間**）

H29 最大約3か月半 → H30 **最大約2か月半** 約1か月短縮

・参加者決定から見学日までの期間（**準備期間**）

H29 平均約40日間 → H30 **平均約60日間** 約20日間拡大

## ◎ H31の取組み・検討事項

### 一般開放・旅行商品化の開始に向けた準備（県）

一般開放・旅行商品化の開始に向けた販売戦略（マーケティング、宣伝プロモーション、運行スタイルの高付加価値化）を、有識者等のアドバイスを踏まえて構築。

### 黒部ルートや宇奈月温泉街の魅力向上等の検討（県、黒部市）

2024年の一般開放・旅行商品化の開始に向け、黒部ルートの満足度の向上や、宇奈月温泉街や黒部峡谷鉄道沿線の魅力創出・磨き上げを検討。

立山

短期

WG

## 12 カルデラ体験学習会の周知強化等

### ◎ 推進体制・取組みの方向性

※第4回「立山黒部」世界ブランド化推進会議資料より

- 富山県を中心に、WGを開催
- カルデラ体験学習会の周知強化を実施

晴天コース(六九谷展望台)



### ◎ 検討・取組状況

- H30年度は、現行のカルデラ体験学習会のバスコースの一部日程(9月、10月)について旅行会社のパンフレットやオンライン予約サイトへ掲載し、広く周知を実施(H30年度初実施、参加者数 147人)。
- H31年度は、ツアー販売を行う旅行会社を3社→4社、ツアー実施回数を9回→14回に増やし実施。

	H30	H31
ツアー販売	①JTB ②クラブツーリズム ③VISIT富山県	①JTB ②クラブツーリズム ③VISIT富山県 ④びゅうトラベルサービス (JR東日本グループ)

+1社

雨天コース(悪城の壁)



2019年JTB首都圏販売旅行商品として掲載

#### 【H31年度販売計画】

ツアー販売	ツアー名	ルート	回数	参加人数	実施日	販売時期
JTB	長野・富山周遊ツアー(2泊3日)	1日目:東京駅—長野県内—大町温泉(泊) 2日目:立山黒部アルペンルート—立山極楽坂(泊) 3日目:立山カルデラ砂防体験ツアー—富山駅—東京駅	2回 (1回)	(最少催行人員) 20人～	10月2日、9日	販売中
クラブツーリズム	未定	東京発着 富山市内 2泊3日予定	3回 (2回)	未定	9月:3回実施	6月頃
VISIT富山県	立山カルデラ砂防体験ツアー	着地型旅行商品(現地集合・現地解散)	7回 (6回)	(最少催行人員) 1人～	9月6日、13日、20日、27日 10月4日、11日、18日	販売中
新びゅうトラベルサービス	未定	東京発着 富山市内 1泊2日予定	2回	未定	9月:1回実施、10月:1回実施	7月頃

( )回数はH30実績

### ◎ 今後の取組予定・検討事項

- 引き続きカルデラ体験学習会の周知強化に努める



# 15 携帯電話不通エリア、Wi-Fi未整備エリアの解消

## ◎ 推進体制・取組みの方向性

※第1回「立山黒部」世界ブランド化推進会議資料より

- 富山県を中心にWGを開催。まずは整備範囲を検討したうえで、通信インフラの確保も含めた課題を洗い出し、実現に向けた調査・研究を進める。

## ◎ 検討・取組状況

### ① 携帯電話不通エリアの解消

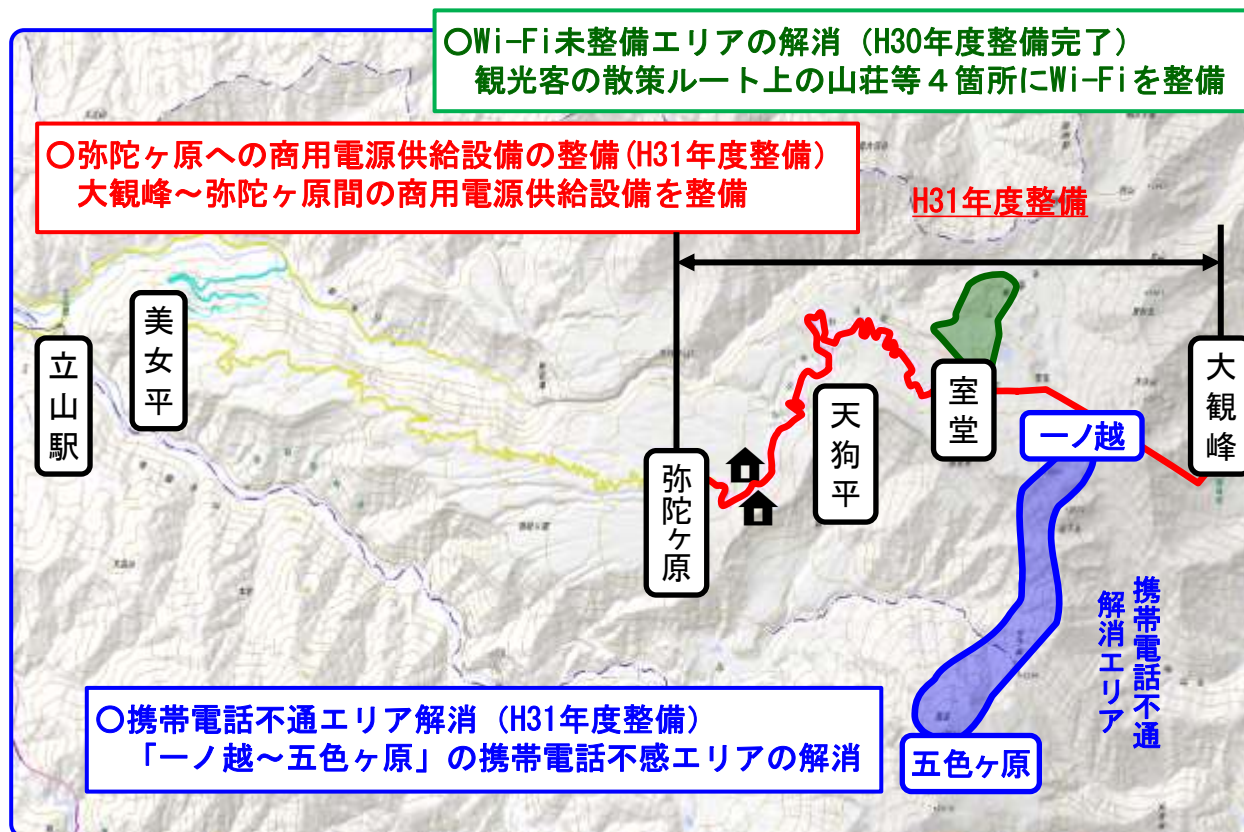
- ・「一ノ越～五色ヶ原」間の携帯電話不感エリア解消のため、携帯基地局を整備（事業主体：立山町）  
※総務省の補助事業（携帯電話等エリア整備事業）を活用
- ・携帯基地局用の電源ケーブルを敷設

### ② 弥陀ヶ原への商用電源供給設備の整備

- ・弥陀ヶ原地区への商用電源供給に向け、費用、ルート、工期等の調査・検討を実施
- ・平成31年度、大観峰～弥陀ヶ原間（約12km）の電源供給設備を整備（予算額：412,000千円）

### ③ Wi-Fi未整備エリアの解消

- ・観光客の散策ルート上にある山荘のオープンテラスや、最盛期600人以上が利用する地獄谷近傍のキャンプ場などに、Wi-Fiアクセスポイントを整備  
※総務省の補助事業（公衆無線LAN環境整備支援事業）を活用
- ・平成31年度本格供用予定



## ◎ 今後の検討事項

- 観光客や登山客の安全確保や利便性向上の観点から、美女平～弥陀ヶ原間の通信インフラの整備について検討を進める。



# 21 登山道の整備

## ◎ 推進体制・取組みの方向性

※第1回「立山黒部」  
世界ブランド化推進会議資料より

- 案内看板・道標等の再整備と多言語化、登山道のクオリティアップを実施。
- 魅力的で周遊性の高いルートの構築について検討。

## ◎ 取組状況

※第1回、第2回、第4回WGにおいて検討

### 1 登山道等の整備は、国の交付金等を活用し、計画的に実施

- ・登山道の整備（歩くアルペンルートの整備）・・・【H30実績：千寿ヶ原弘法線ほか5路線3,105m】
- ・案内看板、道標の整備（英語表記やデザインの統一）・・・【H30実績：歩くアルペンルートで3箇所整備】
- ・木道の新設、再整備（植生の踏み荒らしを防止）・・・【H30実績：五色が原線ほか2路線678m】
- ・環境配慮型トイレの整備（土壌処理循環型）・・・【H30実績：スゴ乗越小屋】

### 2 周遊性の高いルート構築に向け、情報収集

- ・弥陀ヶ原～大日平の吊橋について、聞き取り調査、現地確認を実施

### 3 安全登山検討会を設置(H30)し、安全登山対策の更なる充実に向けた方策を取りまとめ

#### ① 登山前、登山中、遭難時の三局面における対策の推進

- ・登山届提出の意義の啓発など、リスクマネジメントの視点に基づき「登山前の安全対策」、「登山中の危険回避対策」、「遭難時の被害低減対策」をソフト、ハード両面から実施

#### ② 山岳遭難の特徴を踏まえ、ターゲットを明確にした対策の推進

- ・遭難多発層(中高年登山者、未組織登山者)や単独登山者を重点対象にした対策
- ・登山者の力量と目指す山域の難易度のミスマッチを解消する対策

#### ③ 外国人登山者の増加への対応の推進

- ・IT技術を活用した多言語による各種情報提供など、訪日外国人を含む登山者等の安全・安心対策と利便性の向上

## ◎ H31年度の新たな取組み

### ○ 安全登山対策

#### 1 ICTを活用した安全登山対策

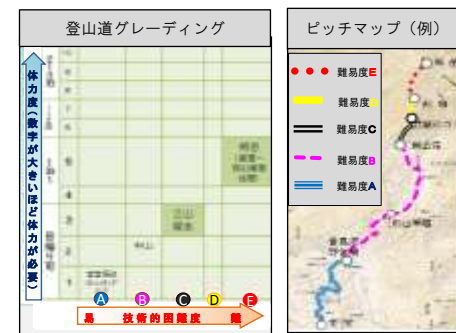
##### (1) オンライン登山届の導入

- ・(公社)日本山岳ガイド協会が運営する「コンパス」の活用
- ・「コンパス」付加機能の活用(6言語対応、緊急情報の配信)
- ・登山者位置情報追跡モジュール(スマート山岳道標)の設置



##### (2) 自分の力量にあった山選びに資する「登山道グレーディング(難易度)」の制作・公開

- ・県内山域(100山)の魅力発信
- ・ルートを細分化してピッチマップも作成
- ・リーフレット、HPで公開(英語表記版も作成)

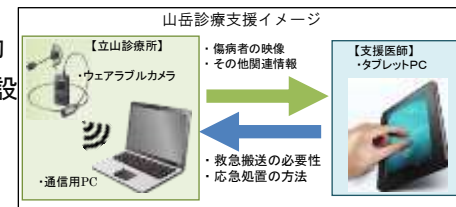


### 2 立山エリアの山岳診療支援

- ・支援医師の助言を受けるために山岳診療所から映像を送信する通信機器を配備

### 3 安全登山の普及啓発

- ・登山用品店等とタイアップした普及啓発活動
- ・多雪な立山連峰の特性に特化した講座の開設



### ○ 施設整備

#### 1 登山道と遊歩道エリアの境界に表示看板(英語表記)を設置

#### 2 立山自然保護センター(1階レクチャールーム)へ最新映像機器を導入

#### 3 樺平園地の猿飛峡遊歩道の安全対策

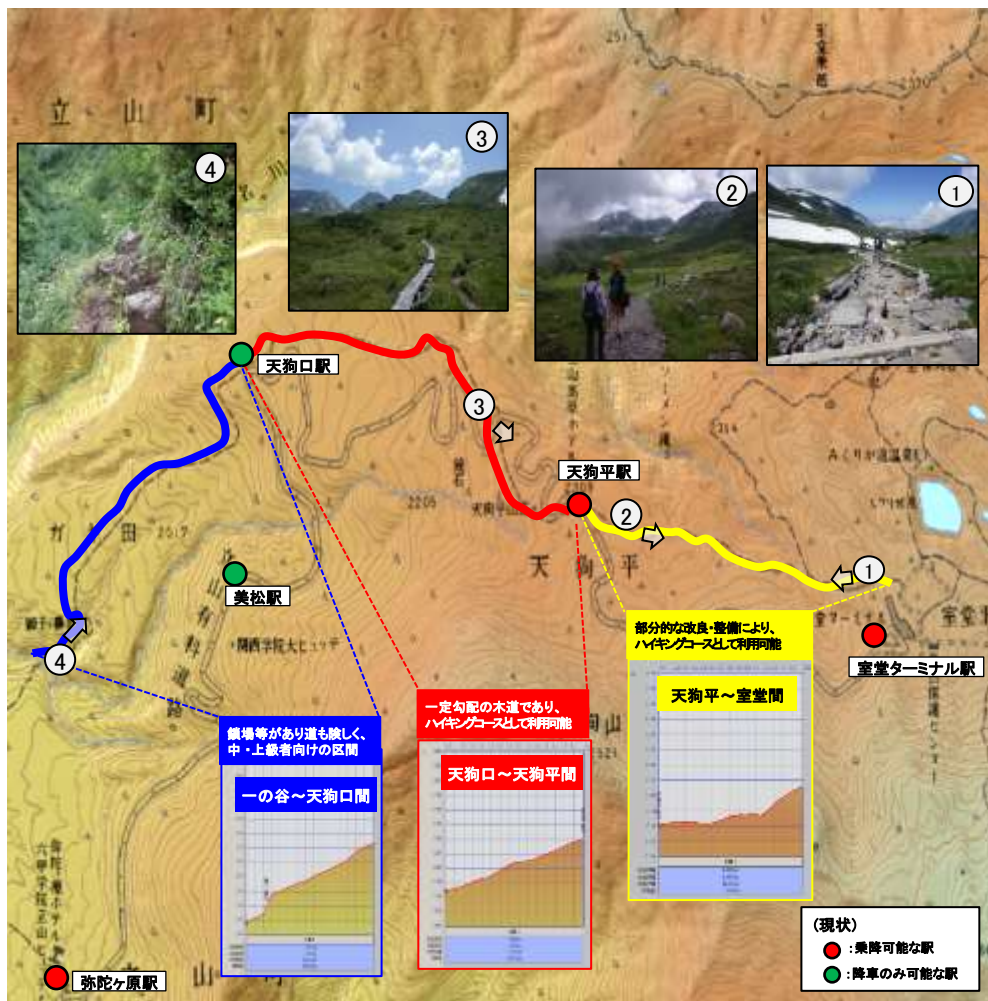


## ◎ 今後の検討事項

### ● 軽登山が可能なハイキングコースの拡充・整備による魅力創出

#### ① 室堂～天狗平周辺

- ・ハイキングコースの整備に向けた調査、関係機関との調整など
- ・周遊性のあるルート設定を検討



#### ② 弥陀ヶ原周辺

- ・現状、利用状況等を調査のうえ、計画的な再整備を検討

